

第95回

会社訪問

株式会社マイクロサポート



会社プロフィール

代表者：代表取締役社長 松本泰治

本社：〒424-0046 静岡県静岡市清水区西大曲町2-21

TEL：054-269-5002

FAX：054-269-5003

設立：2006年5月

営業所：静岡本社営業部 静岡県静岡市駿河区敷地1-3-9

湘南オフィス 神奈川県平塚市宮の前6-20-101

事業内容：マイクロマニピュレーター及びアクセサリ、
マイクロツールの製造・販売

URL：http://www.microsupport.co.jp

(株) マイクロサポート 代表取締役社長 松本 泰治 氏へのインタビュー

聞き手：山口美奈子（広報委員） 山河正道（事務局次長）

（取材・撮影・編集協力：クリエイティブ・レイ(株)）

精確なサンプリングをサポートする “マイクロマニピュレーター”の専門メーカー

—「顕微鏡観察からハンドリングまでの最適化をトータルサポート」というスローガンを掲げる御社の主な事業内容を教えてくださいませんか。

弊社の主な事業は、マイクロマニピュレーターの開発・製造・販売です。弊社は、特に工業用サンプリングに特化した、マイクロスコープ一体型のマイクロマニピュレーターを製造しております。マイクロマニピュレーターを簡単に説明すると、工業系のサンプルを単離して試料台に移し替えるときに使うもので、単に小

さいサンプルをハンドリングするだけでなく、何かに埋没している微小物を削り出したり、粘着剤に付着したものを掴んで引き剥がしたりすることなどができます。以前は難しいとされていた、このような作業が、弊社の製品によって、容易にできるようになりました。

また、弊社の強みとして、アクセサリやツールが充実している点もあります。それらの様々な弊社製品により、多様なサンプリング作業のトータルなソリューションを提案しています。



マイクロスコープ一体型マイクロマニピュレーター「アクシスプロFC」(左)、「アクシスプロSS」(右)

— マイクロマニピュレーターは、顕微鏡を使って確認するような微小なものを掴めるとのことですが、御社の製品はどのくらいの大きさのものに対応しているのでしょうか。

弊社のマイクロマニピュレーターで扱うのは数ミクロン～数百ミクロン以下のものです。この大きさは、光学顕微鏡で見える限界レベルでのサンプリング作業です。単純なサンプリングであれば、1 μm のものでも可能です。その際は先端直径 0.2 μm の針先や、鋭利なルビーのナイフなどを使用してサンプリングを行います。

— マイクロマニピュレーターは、どのような業界にニーズがあるのでしょうか。

主な納品先は、液晶関連部品・電子部品・半導体・化成品・機能材料・製薬などのメーカーです。

携帯電話の画面を例にとるとわかりやすいのですが、スマートフォンの画面のドットは、どう目を凝らしても見えません。以前のドットが見える家庭用テレビとは比較にならないほど微細に作られています。そのため製造工程で混入してしまう異物の許容サイズも大きさに比例して非常に小さくなっています。弊社のマイクロマニピュレーターは、主に製造メーカーの品質管理部門で使用され、製造工程のどこで不具合があったかなどをフィードバックするためにそれら異物を分析装置にかけ同定する過程で、その異物を取り出す為に使用されます。

製品の販売は、商社さまの協力を得ながら行っています。

— 御社の創業は 2006 年とのことですが、どのような経緯で創業されたのか、お聞かせいただけますか。

以前、私は父と産業機械の製作をしておりました。お客さまからの相談やオリジナル製品の依頼を受け、機械の設計から製作・加工・設置までを一貫して行いました。全てがワンオフ作業で、いつかは自分の製品を作るメーカーになりたいと常々考えていました。

そう思い続けて、いろいろとトライするうちに、この業界で商品を提案できる知識や技術を持った現在のメンバーに巡り会い、2006 年にずっと目標としていたメーカーとして会社を立ち上げることができました。

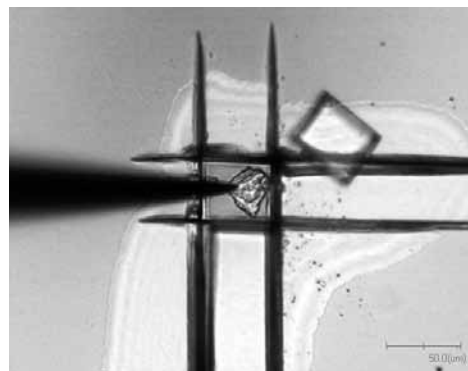
— 念願かない、マイクロマニピュレーターの専門メーカーとして出発されたわけですが、創業当時のエピソードや苦労話などあればお聞かせいただけますか。

会社設立前の開発期間や設立後、数年間の黒字化するまではビジネスとして全く成り立っていない状態でした。創業と言いましても、既存事業と並行しての創業でしたので、創業者の苦労というものとは違うのかもしれません。順調に回っている既存事業の利益で回転させている状態でしたから、ゼロからスタートしていたのであれば継続が難しかったと思います。

創業当時、一緒に立ち上げに関わってくれたり、その時期を間接的に支えてくれたりした信頼できる仲間たちには本当に感謝しています。



手作業感覚で正確な操作ができるマイクロマニピュレーター「クイックプロ」



正確な分析に欠かせない正確なサンプリングが行えるアプリケーションも充実

— 創業から9年ほど経ちましたが、特に思い出に残った出来事などがあれば、お話しいただけますか。

会社を立ち上げる時、何とか早くこの製品を軌道に乗せ、いつかはアメリカで開催されている科学機器展「ピッツコン (Pittcon)」に出展し、製品を世界にアピールしたいと考えていました。

2013年には弊社独自のブースにて出展することができました。そのときに弊社のブースで足を止めてくれたドクターとおぼしき方が「今回の全ての展示で、このブースが一番面白い」という言葉をかけて頂いたときは、唯々本当にうれしかったです。

また、2015年度の経済産業省中小企業庁の「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定していただきました。社員皆のがんばりのおかげです。

— 御社は継続してピッツコンに参加されているのでしょうか。

2013、2014年は、弊社独自のブースで参加しましたが、2015年はアメリカの協力店のブースに製品を置かせてもらい、弊社の社員を2人ほど派遣して参加をしました。来場者も少ずつ減ってしまっている状況ですし、他の展示会も模索しているところです。

— 御社のこれからの目標やクリアすべき課題などがあれば、お聞かせください。

先程述べたピッツコンへの参加のように、いくつか課題となるテーマが見えてきました。

1つは、新製品の開発についてです。創業した頃

は、5年ぐらいのスパンで新製品を開発しないと、会社として生き残っていけないぞ!というぐらいの意気込みで考えていましたが、なかなか思うように進まず難しさを実感しています。

弊社では、大手の研究室のような最先端の技術を自ら発明していくようなことは難しいと感じております。なので使用者の視点に立った、より便利な装置開発や、これまでできなかったこと、苦勞していることを直接解決できるような、お客さまが「このオペレーターは自分たちのために作られた製品だ。さすが専門メーカーだ」と実感していただけるような製品づくりを心がけています。

また、いろいろな要望に柔軟なカスタマイズで対応しており、それらの技術の蓄積が、お客さまに喜んでいただける装置造りに反映できているのだと思います。

製品がお客さまに浸透してくると、当然のことながら、製品を初めてお客さまのところへ持っていった頃のような反応はなくなってきます。こうした経験から、これまでできなかったことができる、より良くより便利な装置の提案はメーカーに課せられた使命だと肝に銘じ、新たな製品の開発に挑戦し続けていく必要があると考えています。

もう1つの課題は、海外展開についてです。今のところ、私たちの製品が求められるのは圧倒的に日本のマーケットです。日本ほど品質管理に厳しい国はありませんから、その厳しいお客さまからの声に耳を傾け、フィードバックし、製品力を高めていけることは日本の企業である弊社にとって有益な環境だと思います。

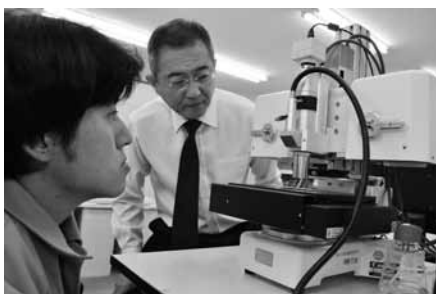
昨今では海外でも段々と高い品質管理が求められるようになってきました。近い将来に向け、日本の市場で鍛えられた競争力の高い弊社の製品を海外でも使用していただくために展開先を探しているところです。

— 御社の経営理念や経営方針などをお聞かせください。

良い会社とは何かをずっと考えておりますが、今の弊社では「お客さま良し、社員良し、会社良し」という形での“三つの良し”を継続することだと考えています。



アメリカで開催される科学機器展「ピッツコン (Pittcon)」に独自のブースで出展 (2013年)



製品がずらりと並んだ静岡本社のデモルーム



松本社長と本社スタッフ

「私たちは、お客さま満足を第一に考えて行動し、お客さまの感動を創造し続ける企業を目指します」「私たちは、頼られる人間、あてにされる企業を目指します」「私たちは、社員の幸せと会社の発展がイコールとなる経営をします」

これを弊社の経営理念として掲げています。

— 経営理念とは別に、松本社長ご自身が座右の銘にされている言葉などがありましたら、お聞かせください。

座右の銘にはふさわしくないかもしれませんが、「棚からぼたもち」という言葉が好きです。15年ほど前に私が商売の師と慕う方から「世の中に棚ぼたは絶対にある。ただし、そもそも棚がないと、ぼたもちはおろか、そのきっかけすら望めない。だからこそ、それらを受け止める棚を作ることに集中しなさい」と、その方の成功体験からの生々しい言葉を聞いたのがきっかけです。

私自身の振り返りを一言で言うと、良い縁や運に恵まれて今日までやってこられたというのが実感です。ビジネスであれば、良い縁が巡ってきたとしても、それを実現する技術や展開する人材がいなければ、何の気づきも起きないと思います。良い縁や運を生かすためにも、基礎技術、人材の育成や仕組みづくりにしっかりと取り組んでいこうと考えています。

— 御社は静岡市の本社のほかに、神奈川県平塚市に湘南オフィスがありますが、どのように業務を分けておられるのでしょうか。

この静岡本社では営業と開発を行っています。平塚の湘南オフィスでは関東エリアの営業を受け持ち、静岡から西側のエリアは静岡の本社を拠点にしています。

— 今回、新たに科学機器協会にご入会いただきましたが、当協会に対するご意見やご要望がありましたら、一言お願いいたします。

先日、参加させていただいた熱海での懇親会では、錚々たる企業の方々が会員として多数出席されていました。入会して日も浅く、まだまだ分からないことも多いのですが、これから学ばせていただくことも多いのだろうと感じました。科学機器協会は長い歴史もあり、多くの企業が加盟されている団体にふさわしい、何か特別なものがあるのだろうと期待しております。

海を遊び場にしたアクティブな趣味を経て
現在はマイペースにゴルフを楽しむ

私の年代の機械屋には麻疹（はしか）みたいなもので、オートバイや自動車に夢中になった時期もありました。清水という土地柄もあり、サーフィン、ヨット、釣りなど海の遊びをひと通り経験しました。会社から約500mの距離に海があります。海が身近な自然ということもあり、小さなヨットを浮かべてあります。

最近の趣味は、月に1度ほどのペースで行っているゴルフです。静岡は魚も美味しいですよ。